

報道機関各位

## 茨城県の線虫に対する抵抗性ピーマン「NRみおぎ」を開発 —線虫の寄生を防いで収量向上—

本県のピーマンは、農業産出額全国1位（R4）を誇る主力農産物であり、特に鹿嶋市・神栖市では県内の90%以上の生産量を占めています。しかし産地では、連作を行うと土壌病害虫であるサツマイモネコブセンチュウ（以下線虫と略）の発生が増加し、ピーマンの収量低下が問題となっています。

そこで平成26年度から、「ピーマン育種コンソーシアム」（宮崎県、茨城県、農研機構、（公財）園芸植物育種研究所他）を中心に、線虫が寄生しない線虫抵抗性ピーマンの育種に取り組んできました。

鹿島地帯特産指導所では、コンソーシアムで開発したピーマン新系統の選抜試験を担当し、令和5年に**本県の線虫に対して抵抗性を有し、かつ本県ピーマン主力品種「みおぎ」と同等の収量・品質が得られる線虫抵抗性ピーマン「No.7」を選抜**しました。

このたび、「No.7」は**品種名「NRみおぎ」**として、令和6年12月より種子の販売が始まりました。線虫被害が多発しているほ場で本品種を用いることにより、生産者の所得向上に寄与できます。

表 線虫汚染ほ場での品種別線虫被害度差異

試験場所	品種	根こぶ指数
所内ほ場	NRみおぎ	0
	みおぎ（慣行）	98
現地ほ場	NRみおぎ	0
	TSRみおぎ <sup>※</sup> （慣行）	83

※TSRみおぎ：トマト黄化ネセウイルス(TSWV)、トウガラシ微斑ウイルス(PMMoV)抵抗性品種。

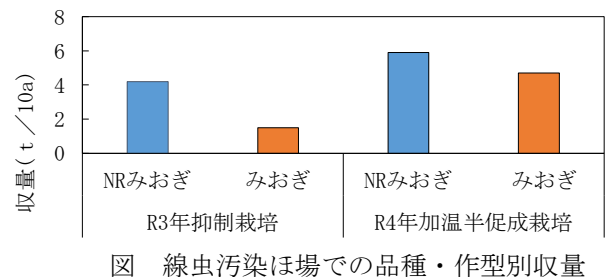


図 線虫汚染ほ場での品種・作型別収量



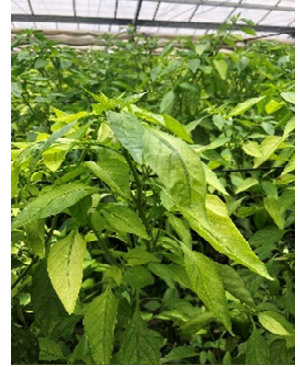
ピーマン「NRみおぎ」(写真：園芸植物育種研究所)

「みおぎ」と同程度の収量がある。  
線虫抵抗性により、被害を受けにくい



「NRみおぎ」の線虫抵抗性

左：「NRみおぎ」右：「みおぎ」  
右は線虫被害により葉が黄化している



※「NRみおぎ」の抵抗性を打破する線虫が発生する可能性があります。「NRみおぎ」を利用する場合は、薬剤処理や物理的防除法など、必ずその他の線虫対策と併用してください。

※種子の購入を希望される方はお近くの種苗店に御相談下さい。

## 【本試験に関する問合せ先】

茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所  
担当：小川・高木 TEL：0299-92-3637  
e-mail：katoku@pref.ibaraki.lg.jp

本品種の育成は、「イノベーション創出強化研究推進事業」“安全安心な国産農作物安定供給のためのピーマン育種プロジェクト(26102C)”の支援を得て実施しました。